

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

小二
かがやみさ

あ
お

島田白露先生

小二
さとうえみ

エ
ユ

片岡豪峰先生

幼・小学1年参考手本

小一
もとうゆり

い
い

広瀬舟雲先生

小一
みやまはるか

う
し

一谷春窓先生

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

白馬

小四 石井広一

山口仙草先生

小学3年参考手本

小川

小三 木山恵

稻垣小燕先生

平和

小四

鶴田遙

半田藤扇先生

上下

小三 近藤誠幸

小竹石雲先生

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

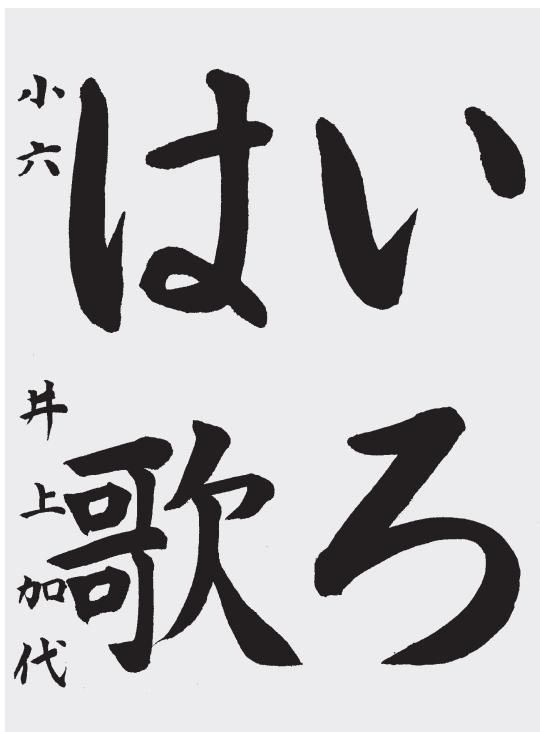


最首翠風先生

小学5年参考手本



名越蒼竹先生



辻元大雲先生



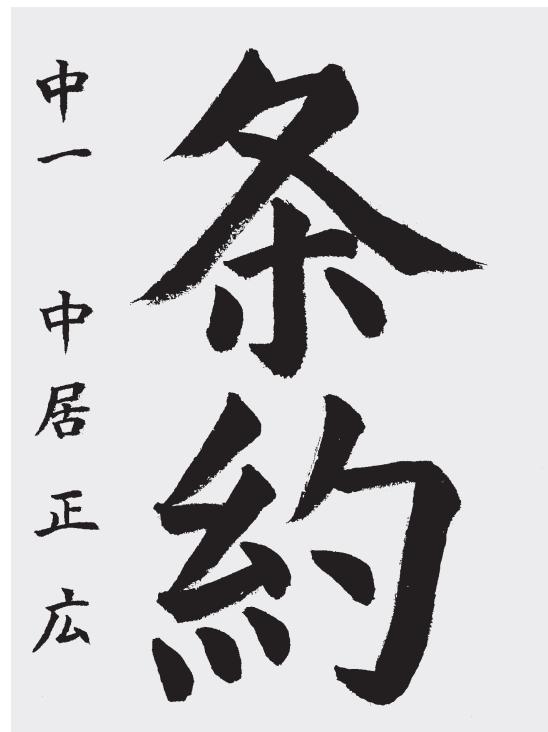
尾形澄神先生

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

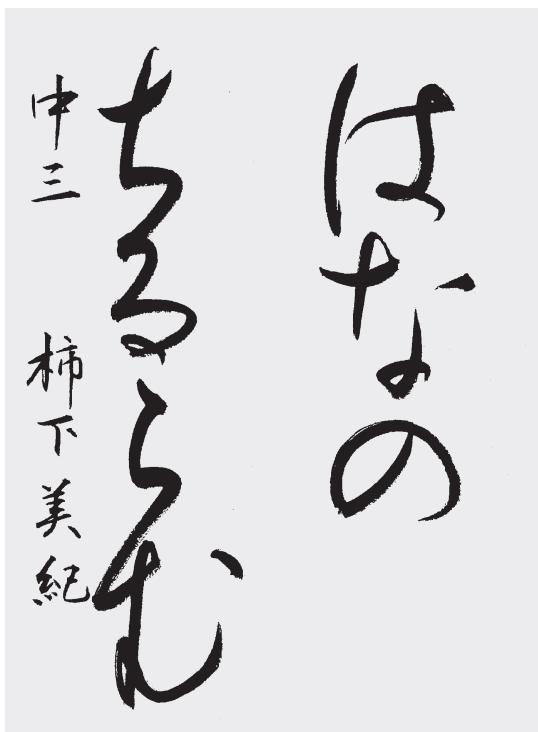
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



種 谷 萬 城 先 生



前 田 龍 雲 先 生



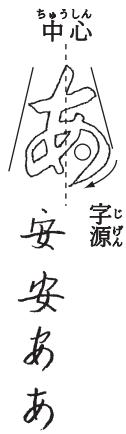
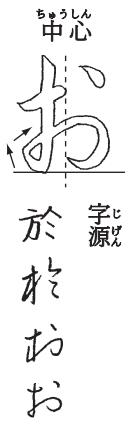
下 谷 洋 子 先 生



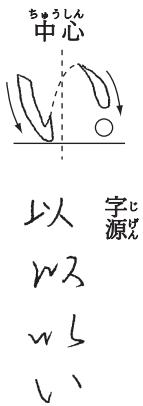
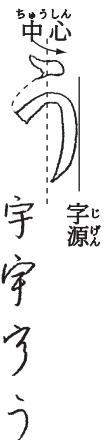
板 垣 洞 仙 先 生

毛筆参考手本解説(1)

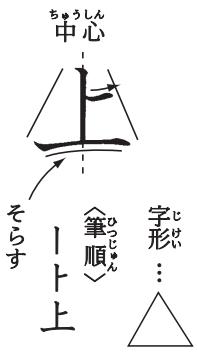
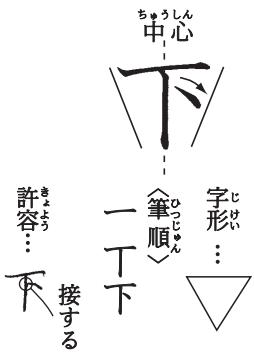
1年



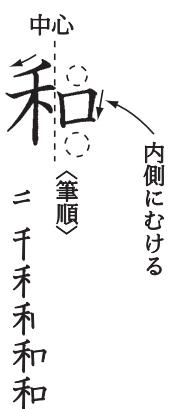
2年



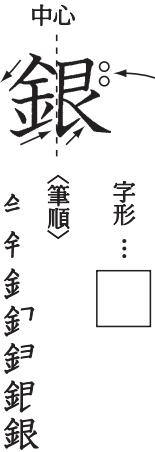
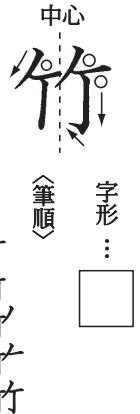
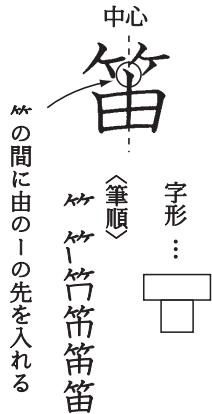
3年



4年



5年



毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

やさしい行書

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

行書の特徴
・連続と省略

・糸へん

中心
労

字形：

とめる

字形：

、ヽ ノ ホ 学 労

中心
条

字形：

字形：
ク 夕 冂 冂 条 条

中心
勵

字形：

○重は幅をせまくし
横画は等間かく
○力は少し下げる
組み立てる

筆順

仁 信 伸 倉 勘 勵 勵

中心
約

折れてから徐々
に内側へ向かう

字形：
ム ヲ 糸 糸 約 約

筆順

許容 糸 はねる 糸
とめる

中心
歌

字形：

字形：
可 可 哥 哥 歌 歌

高野切
こうやぎれ

高野は高野山のこと、切は書いたものの一部分を言います。
高野切は高野山にあった古今和歌集を書いた歌集の一部分です。

ちる らむ

連綿
(文字と文字をつなげて書くこと)

ひらがなの字源 (307)

源字	字形
む	ら
武	良
ち	留
の	ち
な	ち
は	ち
波	ち
は	乃
奈	乃
は	ノ
は	ノ

* 源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
* 字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

〔5月7日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学2年

幼・小学1年

支部名	黄	野	
段・級	色	原	
学年	の	の	
二	じ	た	
名前	ゆ	ん	
山中なかのか	う	ほ	
	た	ほ	
	ん	は	
	。		

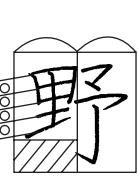
支部名	い	み
だん・きゅう	ち	ん
がくねん	ね	な
一	ん	と
なまえ	か	も
かどわきこさな	ど	だ
	せ	ち
	い	



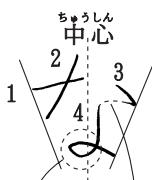
力をぬいてよこへまる
とめて上へかるくはねる
なぐく



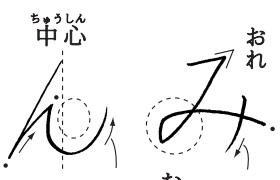
はいるかくど
（ひつじゅん）
一ナサ 蒜蒜蒜黃



『たんぽぽ』
「色」の字形をただしく書きましょう。



つづけるきもちで
四かくめのいちにちゅうい
むすび



『いちねんせい』
「とめ」「はね」「はらい」をただしくかぎま
しょう。
おれ
ほうこうにちゅうい
むすび

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

支部名	い 気 持 ち に な り ま し た。	仲 直 り を し て 、 う れ し	け ん か を し た 相 手 と
段・級			
学年	四		
名前	野地和馬		

支部名	を 生 か し ま し よ う	教 科 書 の ポ イ ン ト
段・級		
学年	三	
名前	川鳥光希	

中心
氣 (ヨコ)
等間かくに
メは中心より左側に
(筆順)

直 (ヨコ)
よこが出る
たてが出る

『仲直り』
漢字の外形を見て、字形をととのえましょう。

『教科書』
「教」のはらいに氣をつけて字形をととのえましょう。
はらいいの方向にちゅういして
左右のつりあいをとる。

教 (ヨコ)
はらいう
点の位置と方向にちゅうい
よこ分間をひらきすぎない
（ひつじゅん）
→ ← = 曲書

科 (ヨコ)
ながく
よこ分間をひらきすぎない
（ひつじゅん）
→ ← = 曲書

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年

小学 5 年

支部名	手	は	絵	
段・級	紙	、		
学年	に	お	の	感
六	そ	友	得	想
名前	え	達	意	を
坂田 一花	ま	の	な	書
	し	似	中	き
	た	顔	村	き
		絵	さ	ま
		を	ん	し

支部名	や	紙	
段・級	感	に	記
学年	想	は	事
五	を	り	を
名前	書	、	切
横山 健人	き	わ	り
	ま	き	取
	し	に	つ
	た	意	て
		見	台



へん
つくり
1 : 1



1 2 3 4
へん
つくり
1 : 1



点の位置に注意
はらいの方向に注意
接し方に注意

『似顔絵』
「へん」「つくり」の組み立て方に気をつけて
書きましょう。



△ 点の位置に注意
△ はらいの方向に注意
△ 接し方に注意



長さと角度に注意
長くはねる
はらう



△ そりは長く
△ 一 ハ フ ニ ユ ニ 取
△ 一 ハ フ ニ ユ ニ 取

『記事』
筆順にしたがって正しく整えて書きましょう。

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 書)

中 学 生 (楷 書)

支部名	
段・級	
学 年	
中二	
名 前	生田 英太

ヨーロッパへ行く直行便がなかつた
こうは、アンカレッジ経由の北回りが
最短ルートであつた。

支部名	
段・級	
学 年	
中二	
名 前	生田 英太

ヨーロッパへ行く直行便がなかつた
こうは、アンカレッジ経由の北回りが
最短ルートであつた。

便

経

・行書のワンポイントアドバイス
行書の特徴のひとつとして終筆の変化
があります。楷書の「はらい」の部分
が「フ」とめて次へつながるようにな
る場合があります。

中心 最 行
中心 北 行
中心 行 行
漢字 ひらがな カタカナをつりあいよく
書きましょう。『空路』

書きました。
方向

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部児童教育学科教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道藝術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「明解・書写教育」などがあります。

第2回 書写と習字の違い？

今回は、「書写」と「習字」の違いについて考えてみましょう。わからないことが出てきたら頼りになるのが辞書です。まず有名な国語辞典のひとつ『広辞苑』で「書写」を調べてみました。すると「小学校・中学校の国語科の一科目、文字を正しく書くことを目的とする。習字。」と記されています。始めの文章はあります。ところが末尾に記された「習字。」という箇所に？を感じました。これでは、まるで「書写」と「習字」は同じ意味と言つているようではありませんか。すかさずいろいろな辞書を調べてみると「硬筆と毛筆の習字」など今日では誤りと思われるものが実に多いのに驚きました。

そこで今度は『日本大百科全書（ニッポンカ）』で調べて見ました。するとこの件も含めて書写と習字の違いがとても明解に記されました。

「本来は書き写すという意味の語であるが、学校教育においては一つの学習指導分野をさし、文部省は、一九五八年（昭和三三）改訂の小・中学校学習指導要領から從来の「書き方」「習字」の呼称にかえて「書写」の語を用いることとした。国語の

い。〔久米公〕

最後の筆者名を見て納得。この文章を書かれた先生は、元文部省視学官で書写書道教育の理論化に熱心に取り組まれた方です。久米先生が全国大学書写書道教育学会の理事長に就任された当時、私は、まだ四〇歳前後でその事務局として手伝わせて頂きました。夜十時過ぎに、自宅の電話が鳴ると久米先生からでした。百科事典のこの文章は、いつも先生が述べておられたことがいかにも先生らしい言い回しで要領よくまとめられています。

（つづく）

今月のホープ



どっしりと力強い筆運びで充実しています。はね、はらいもしっかり書けています。名前もていねいです。

小六 佐藤ななか（華祥社）



一点一画、きちんとしていて安定感のある筆づかいです。堂々として見て見事な作品となりました。

小五 齋藤美歩（夏見会）

支部名	松緑
段・級	特待
学年	中三
氏名	林 優衣
故郷の景観を、一途なまでに愛し残そうとする人々の努力が世界遺産登録への道につながった。	

線に強弱の変化があり味わいのある線で書いていて魅力的になった。字形も整齊で美しく文字の大小もありよい。

中三 林 優衣（松緑支部）

支部名	白菊
段・級	
学年	三
名前	大嶋咲月
流れ出しました。	
雪どけ水が谷川に	

小三 大嶋咲月（白菊支部）

字形良く、漢字・かなともに正確でマスを上手に使って素晴らしい。見ていて安定感のある美しい作品、見事です。

書道芸術学生版 春季昇級試験規定

・・硬筆

一、しめきり日 5月7日(日)

一、発表 5月下旬

毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

幼・小学校一年生 いろ (かいしょ)

二年生 はる (かいしょ)

三年生 中立 (かいしょ)

四年生 名言 (かいしょ)

五年生 足音 (かいしょ)

六年生 出発 (かいしょ)

中学校一年生 成長 (楷書か行書)

二年生 筆法 (楷書か行書)

三年生 進路 (楷書か行書)

一、受験料 各部一点 500円

毛筆
硬筆
共 一人一点

○受験料は、指定の振替用紙で締切日までに送金のこと。

一、書体

○小学生は楷書 (かいしょ)

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本

人が毛筆で書く。(幼・小一の方は、

学年を書かなくてもよい)

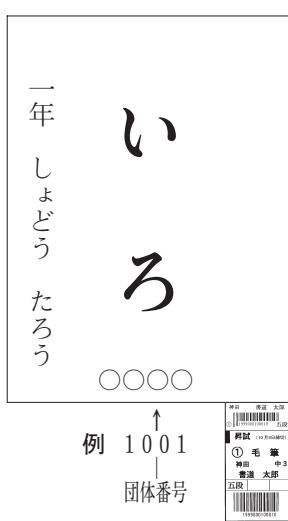
一、受験票

応募書類と同送される段級が印字された「昇級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかり貼付する。

(毛筆・硬筆共)

○応募書類は4月下旬に、受験番号を記入した応募書類と「昇級試験用」バーコード出品券を送付する。

○左図のように記入して出品する。作品中央下に赤字で団体番号を記入する。



○くわしいきまりは、追ってお知らせいたします。

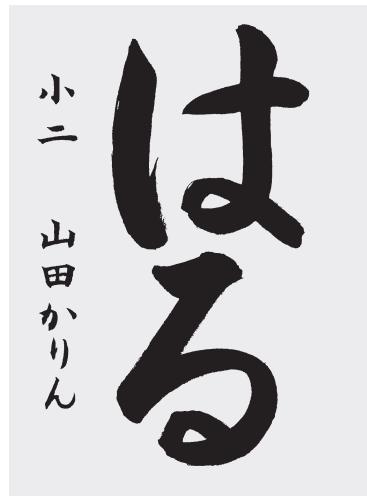
※5月号の購読部数を越える受験はできません。

小学 3 年



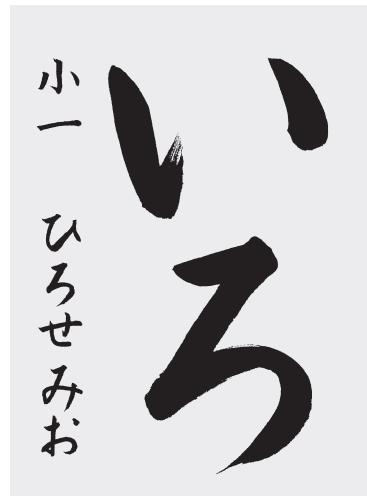
川島舟錦先生

小学 2 年



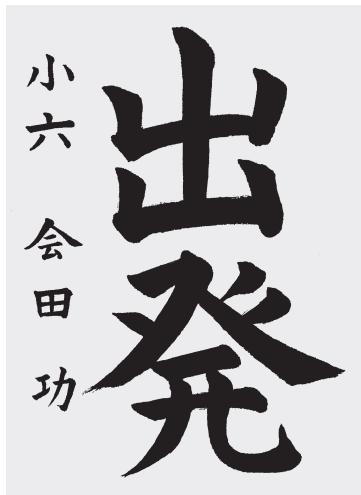
名越蒼竹先生

小学 1 年



廣瀬舟雲先生

小学 6 年



廣瀬舟雲先生

小学 5 年



川島舟錦先生

小学 4 年



名越蒼竹先生

中 学 3 年

中 学 2 年

中 学 1 年

楷書



辻元大雲先生

小竹石雲先生

種谷萬城先生

行書



辻元大雲先生

小竹石雲先生

種谷萬城先生

硬筆の部

一、くわしい規定は、「毛筆」と同じです。

一、用紙は、本院指定のものを使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品する。○学年相当の用紙で書く。

一、課題(各学年用)文字は、参考手本通りに書く。

一、「空欄」「。」「、」も正しく書く。

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が書く。
一、幼・小一の方は学年を書かなくてよい。

例「ちょうのみず」

支局、支部名は、本人が書けない場合はゴム印でもよい。

一、受験票は、応募書類と同送される段級が印字された「昇級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかり貼付する。

※5月号の購読部数を超える受験はできません。

小学1年

支部名	えんそく
段・級	だん・きゅう
学年	がくねん
二 名前	なまえ
花田とあ	ちょうのみず

え
が
お
で

小学2年

支部名	つ
段・級	てき
学年	一年生
二 名前	が学校
花田とあ	に入

つ
てき
ました。
一年生
が学校
に入

小学4年

支部名	まつ
段・級	てい
学年	は
四 名前	こと
清水星矢	昔の人のちえがつ

まつ
てい
ます。
は
こと
昔の人のちえがつ

小学3年

支部名	は
段・級	こ
学年	朝
三 名前	食を
戸田美羽	とりまし

は
こ
朝
食を
とりまし

支部名	
段・級	
学年	
中三	
名前	岡田 静花

智に働けば角が立つ。情にやお
させば流される。意地を通して、原
た。とかくに人の世は住みにくい。

支部名	
段・級	
学年	
六	
名前	中村 結菜

が並んでいました。
目玉焼きと野菜いため
食たくにはパンと

支部名	
段・級	
学年	
五	
名前	安田 悠真

じ、星たちが重なり、
光つている銀河。
あとの遠い空にひとす

春季昇級試験で硬筆の部を受験される方は、硬筆用紙(月例と同じ用紙)を使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさに合わせて切って出品してください。
用紙は、一冊30枚づづり。送料を含んだ金額は下記の通りです。

◎硬筆用紙は、学年別に4種類あります。

- ① 幼・1年生用 ② 4・5・6年生用
- ③ 2・3年生用 ④ 中学生用

料金表 (送料含む)

硬筆用紙9冊以下(1冊100円+送料)

冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
1	245 円	4	615 円	7	1,000 円
2	405	5	800	8	1,100
3	515	6	900	9	1,250

10冊以上のご注文は、送料無料。

春季昇級試験

硬筆の部

を受験される方へ

支部名	
段・級	
学年	
中三	
名前	岡田 静花

智に働けば角が立つ。情にやお
させば流される。意地を通して、原
た。とかくに人の世は住みにくい。

平成

年 月 日

◇登録用紙◇

団体番号		支部名		先生名	
------	--	-----	--	-----	--

※氏名を楷書で記入してください。

※毎月**20**日までに登録された方は次月から出品可能です。 ※現在の学年を明記してください。

※退会の処理は年2回の昇級試験時に手続きお願ひいたします。 ↓

氏 名	ふりがな	学 年			備 考
		幼	小	中	

◇部数変更届◇

現 在 冊	月号から	増 渏		合 計 冊
		増	減	
事務局使用欄				

H29.2.19(日) 第68回全国学生書道展表彰式（於帝国ホテル 富士の間）

第70回記念書道芸術院展 表彰式
第68回全国学生書道展

第52回 高野山競書大会案内

併催／日中青少年友好交流競書大会

高野山競書大会に出品「協力を

高野山競書大会は本年52回を迎えます。皆さまご存知の通り、高野山書道協会は日本の全書壇を網羅し、弘法大師空海の遺徳を偲び、書道文化の育成奨励を目的として組織されました。本院としましてもこの趣旨に賛同し、例年多くの会員諸氏のご協力を頂いております。本年も多数のご参加を心よりお待ちしております。新しく出品希望の方は、高野山競書大会總本部までお問い合わせください。

○ 優秀作品展示

八月一日(火)～八月十五日(火)

- 会場 高野山 総本山金剛峯寺
会場 高輪 高野山東京別院
八月十五日(金)～八月二十七日(日)

一 学生部規定

一、資格 幼児・小・中・高校生

一、用紙 半紙(縦書き)

一、課題 内容自由 一人十点まで

一、奉賛出品料 団体出品……一点 三五〇円

個人出品……一点 五〇〇円

一、出品手続 指導者の指示にしたがって提出し、団体登録された書道会(教室)・学校ごとにまとめます(個人出品は、直接大会總本部宛に作品と出品票を郵送してください)

◎ 出品締切日 五月二十三日(火) 必着(学生部・一般部共)

一 一般部規定

〔競書の部・献書の部に分かれる〕

競書の部

一、資格 大学生及び社会人

一、用紙・課題・出品手続の規定は学生部と同じ

一、奉賛出品料 団体出品……一点 七〇〇円

個人出品……一点 一、〇〇〇円

献書の部(一般の方が審査を受けずに参加できます)

一、資格・用紙・課題・出品手続の規定は競書の部と同じ

一、奉賛出品料 競書の部と同じ

● 作品の下部右下に「献書」と明記のこと

● 献書された方には感謝状と記念品を贈呈。

作品・奉賛出品料送付先

〒648-0294 和歌山県伊都郡高野町高野山一三三一 総本山金剛峯寺内

振替〇〇九九〇-〇一三一〇九二六

(名義) 高野山書道協会
（金剛峯寺賞以上の受賞者を高野山に招待いたします）

中国の学童も参加
本大会は、日中青少年友好交流競書大会を併催しており、ここに第三十三回を迎へ、中国学童の作品もともに審査します。

○奉納法会

六月三日(土) 最終審査日

総本山金剛峯寺で「第五十二回高野山競書大会作品奉納法会」を行い、出品者の書技向上と日本書壇の発展を祈願いたします。

全作品は奉納されますので、お返しできません。

○表彰式

八月四日(金) 式場 総本山金剛峯寺
(金剛峯寺賞以上の受賞者を高野山に招待いたします)

主催
高野山 総本山金剛峯寺
後援
弘法大师
眞言宗
毎日新聞社・全日本書道連盟
高野町教育委員会・高野山住職会

漢字に親しもう

86

今月は小学3年生の毛筆課題「上・下」について調べました。「上」と「下」は2字とも小学1年生で学習する漢字です。今回は漢字の使い分けまでとりあげました。

上

訓 音
訓 音
訓 音

ジョウ
うえ
あーがる
のぼーる

一の部

3画

筆順

一ト上

下

訓 音
訓 音
訓 音

カ・ゲ
したしも
くだーるさがーる

一の部

3画

筆順

一丁下

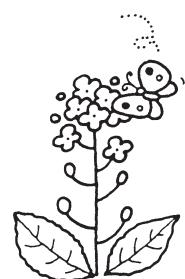
意味
なりたち
しき物のうえに物があることをしめして、「うえ」という意味を表した字。

意味
なりたち
おおいのしたに物があることをしめして、「した」という意味を表した字。

意味
①物・場所などのうえ
②すぐれている
③高い所へあがる

意味
①物・場所などのした。
②おとつている。
③順序が下である。

解説
「上」の字形は△（三角形）を、「下」の字形は▽（逆三角形）を想像して下さい。普段、田にする活字は□（四角形）の字形が多いので、書写する時に注意して下さい。あと、「上下」という漢字を参考に漢字のいろいろな使い分けを学びましょう。



（豪峰）

（小学館 例解学習漢字辞典から）

○いよいよ新学期になります。私も気持ちを新たに書道芸術学生版の編集を行っていきます。先月号から毛筆参考手本解説を載せ始めましたが、どうでしたでしょうか？

○今月号から表紙の作品を第68回全国学生書道展の上位作品に変更しました。頑張って書いている人の作品を見ることは心の栄養になりますので、ぜひ毎回表紙も見てください。

○新中学1年生の新段・級を掲載しました。現在の段級をもとにした移行基準に従って新しい段級で始めていただきます。毛筆・硬筆とも同じ扱いですので、ご注意ください。

